

御中

技術資料

イタリアート ベネチア
ダブルトーン ヘラ仕上げ施工の手引き

平成16年10月【初版】

平成30年 5月【改訂】

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

キーワード：イタリアート、ベネチア、ダブル
トーン、ヘラ、施工の手引き

イタリアート ベネチア
ダブルトーン ヘラ仕上げ
施工の手引き
(内装)

平成16年10月【初版】
平成30年5月【改訂】

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材 料	商 品 名	荷 姿	標準施工面積
主 材 下塗り	ベース (B) A色 イリアート ベネチア JM-65C□□ □□…色番号 (カタログ参照)	10kg/容器	20㎡
主 材 上塗り	トップ (T) B色 イリアート ベネチア JP-65C□□ □□…色番号 (カタログ参照)	1kg/容器 の場合	5㎡
		10kg/容器 の場合	50㎡

<施工道具>

- 金へら (ステンレス製)、金ゴテ
- 電動サンダー (ペーパー#180~240程度)

<標準下地>

- 石膏ボードで寒冷紗を入れた目地処理を行い、
全面内装用パテで不陸調整した下地

<ベネチア ダブルトーン ヘラ仕上げ 施工工程>

1. 下塗り (ベース : B)

配 合	ベネチアJM-65	A色	無希釈
塗 布 量	0.5kg/m ²		
施工道具	金ゴテ 又は 金ヘラ		
施工方法	JM-65 A色を金ゴテ又は金ヘラにて平滑に塗布する。		

乾燥後 (乾燥時間 25℃ 6時間)

2. サンドペーパーがけ

段差はサンドペーパー#180~240にて、平滑になるようサンディングする。

3. 上塗り (トップ : T)

配 合	ベネチアJP-65	B色	無希釈
塗 布 量	0.2kg/m ²		
施工道具	金ヘラ (ステンレス製)		
施工方法	図-1, 2参照。		

10分以内

4. 磨き (仕上げ)

ヘラにて表面を磨いて仕上げる。(図-3参照)

<施工方法>

トップ (パターン付け)

- ① ヘラ先の中央部分に少量の材料を付ける。(図-1 参照)
- ② Aの方向に幅5cm程度のパターンになるよう材料を薄くしごき塗りする。次に、Bの方向に材料をこすり取るようにヘラを動かす。(図-2. I 参照)
- ③ パターンが重なり合わないよう②の要領で塗りつける。
(図-2. II 参照)
- ④ ③でパターン付けができなかった部分を埋めるようにパターン付けを行う。(図-2. III 参照)
- ⑤ ④でもパターンがつかなかった部分を埋めるようパターン付けを行い、隙間を無くすよう塗布する。(図-2. IV 参照)
- ⑥ パターン付け終了後、ヘラを用いて、はみ出した余分な材料をかき取る。(図-2. V 参照)

磨き (仕上げ)

- ⑥ パターン付け後、10分以内にヘラの中央部分 (図-3 参照) を壁面に強く押し当て、磨く。

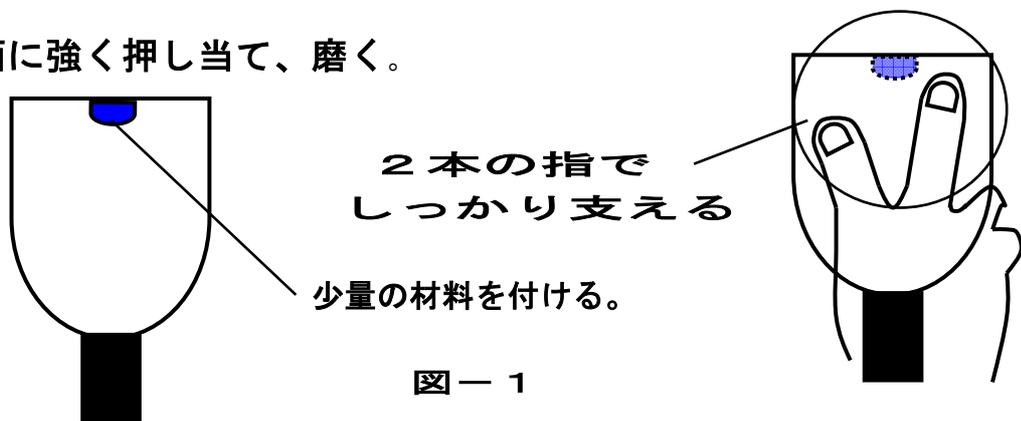
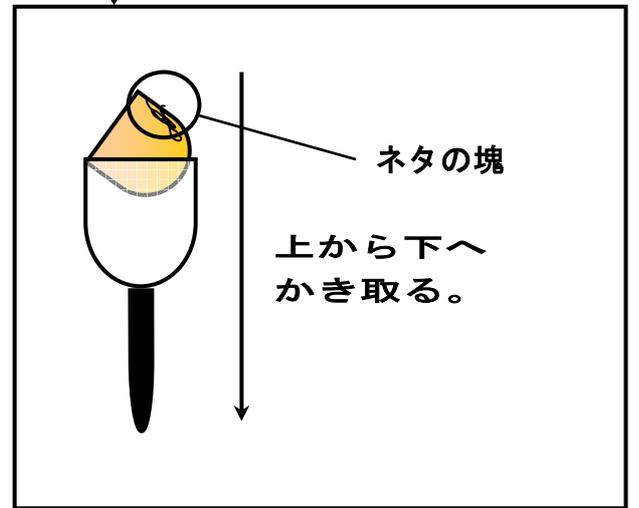
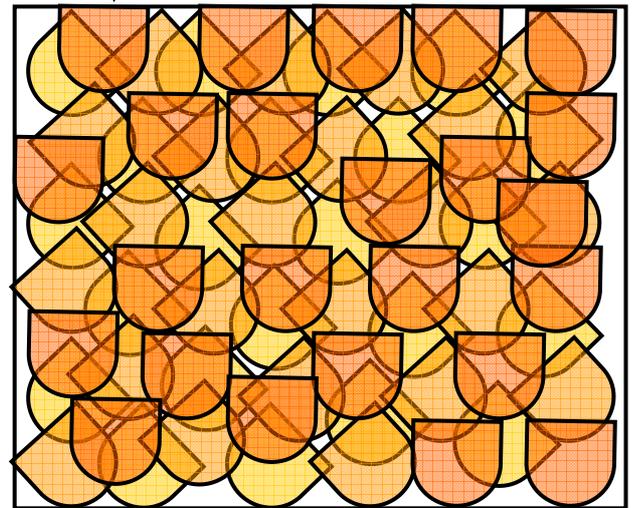
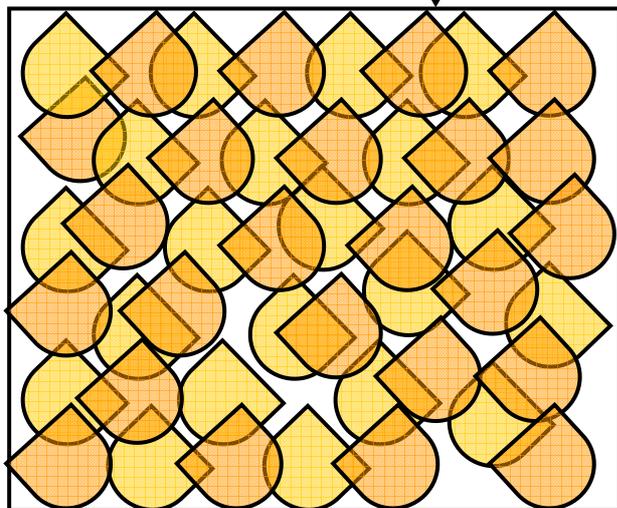
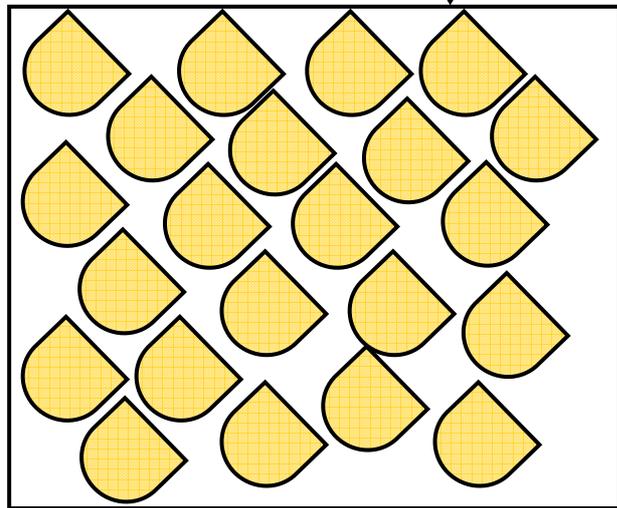
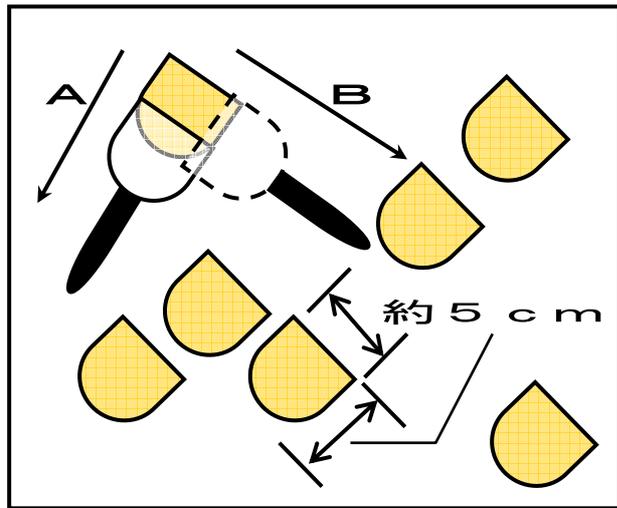


図-1



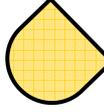
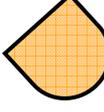
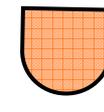
-  ... 1回目 パターン
-  ... 2回目 パターン
-  ... 3回目 パターン

図-2

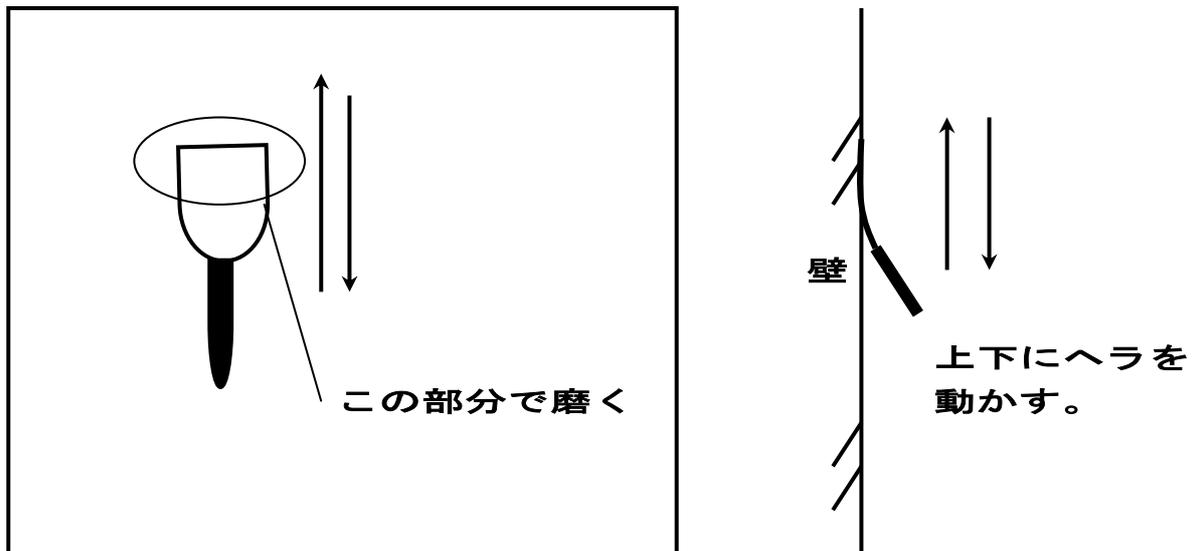


図-3

ヘラの中央部分が壁面に当たるようヘラを人指し指と中指でしっかり持って(図-1のように)、ヘラをしならせるようにして光沢がでるまで磨く。この時、ヘラの先端部分で塗膜面を傷つけないよう気を付ける。

<注意事項>

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上り、乾燥性を確認してください。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意してください。
(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討してください。)
- ・ 塗材は充分攪拌して使用してください。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以 上